



# 写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2021  
春号  
No.77

(2021年4月発行)



西川さんから、オンラインでのさまざまな活動を紹介いただきました

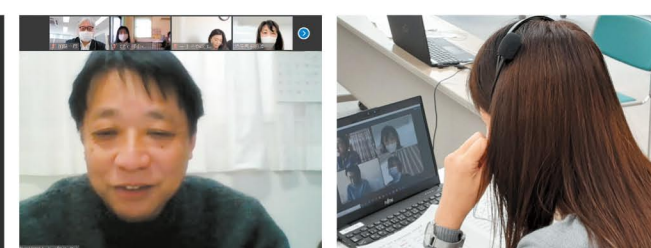
## 12/2 (水) 組合員活動交流会 コロナ禍での活動を交流し、 これからの考えました



4生協38人が参加、各生協の取り組みを報告しあいました。グループ交流で質問しながら、コロナ禍で手探りでつながりを絶やさないよう考えながら、それぞれの活動をすすめていたことについて、理解を深めました。「ハンズオン!埼玉」の西川正さんから、活動への助言をいただきました。

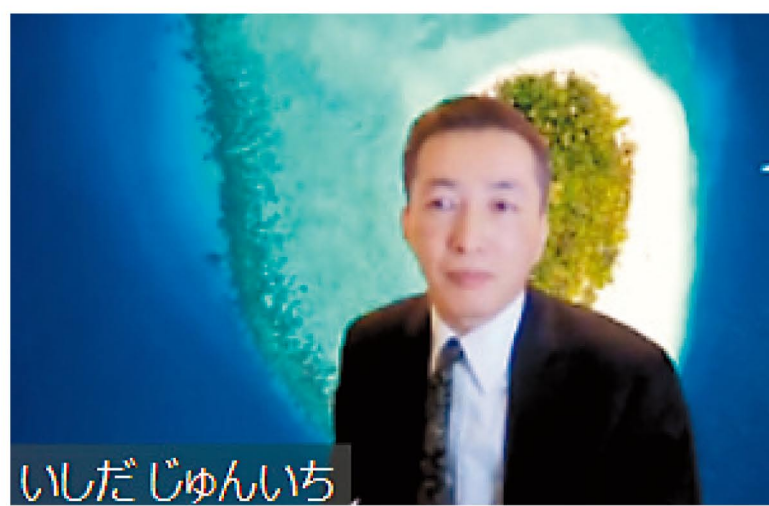
## Top News

## 第2回組合員学習会 3/4 (木) コロナ禍における子どもの貧困や生活困窮者支援の 現状を学び、交流しました



「ハピママメーカープロジェクト」篠田さんから、フードパントリーの状況を報告いただきました

Zoomによるオンライン開催で、フードパントリーを行っているハピママメーカープロジェクト、埼玉県社会福祉協議会・ワーカーズコープによる生活困窮者支援の取り組みについて報告いただき、分散交流で取り組みの理解を深めました。3生協52人が参加しました。



いしだじゅんいち  
講師の情報処理推進機構 (IPA) 石田淳一さん

## 2/4 (木) NPO法人埼玉消費者被害をなくす会 「消費者力アップ学習会Vol.3」 「スマホ・パソコンの情報セキュリティを 学ぶ」をテーマに学習しました



70人の参加者が、個人情報の流出、クレジットカード不正利用などについての最新の豊富な事例をもとに、オンラインで学習しました。

## 2/15 (月) JA埼玉県女性組織協議会と 埼玉県生協連の早春交流会 初めてオンライン開催しました



第26回早春交流会を、JA24人、生協連21人の参加で開催しました。SDGs17色のビーズブレスレットづくり、コロナ禍での協同組合活動について地域ごとに交流しました。

## 2/17 (水) 埼玉県食品安全局と 消費者団体の懇談会 埼玉県の食の取り組みへの 理解を深めました



オンラインで2人参加し、質疑応答もおこないました  
食品安全局6人、消費者団体7人の参加で対面(オンライン併用)で開催、埼玉県食品衛生監視指導計画、食中毒の状況、コロナ禍における保健所の現状、HACCP、鳥インフルエンザ等をテーマに説明いただき、意見交換をおこないました。



1月7日 自由民主党議員団役員との懇談

## 12月・1月 県議会各会派との懇談会 生活困窮者支援の取り組みなどについて懇談しました



生協への理解を深め、意見交換を行う場として埼玉県議会3会派との懇談会を実施し、8人の県議会議員が参加しました。感染防止対策を行い、少人数、短時間で開催しました。



12月14日 無所属改革の議員との懇談 1月19日 日本共産党埼玉県議員団との懇談



## 会員生協の取り組み

# 広がる 県内生協の 多彩な活動

## 生活協同組合パルシステム埼玉

### 組合員にフードドライブを 呼びかけました



パルシステム埼玉ではフードドライブへの協力を定期的に呼びかけています。今回は、特定非営利活動法人フードバンク埼玉で、2月15日(月)～26日(金)の配達時に集まった食品の計量と仕分けを2月25日(木)、3月2日(火)・4日(木)の3日間で行いました。作業には組合員からボランティアを募集し、お手伝いいただきました。(ボランティアは3日間で組合員14人、理事2人、職員1人、合計17人)

## 生活協同組合コープみらい

### 「コープみらいWEB交流フェスタ」を 開催しました

## 2021 コープみらい WEB交流フェスタ



当日の会場の様子

2月18日(木)、初の試みとなる1日限りのオンラインイベント「コープみらいWEB交流フェスタ」を開催しました。ブロック委員会では、実会合が制限されたコロナ禍において、コミュニケーションの方法を工夫しながら活動を進め、その取り組みを発信する場となりました。「食と商品」「環境」などの9つのテーマで、85の企画が展覧されました。当日は、のべ2000人の参加がありました。

## 医療生協さいたま生活協同組合

### 組合員の支部活動拠点を 「放課後の子どもの居場所」に



安心ルーム外観 2月 近くの桜ヶ丘小学校でたこあげ

地域に開かれた組合員活動の場として「支部活動拠点づくり」を進め、現在は県内5カ所に設置され、様々な活動を展開しています。行田東支部は、2018年4月に、学童保育に入れなかった子どもたちのために放課後の子どもの居場所として「桜ヶ丘子ども安心ルーム」を開始しました。2020年4月からは大人の居場所「桜ヶ丘安心ルーム」として活動しています。新型コロナウイルス感染症の影響で大人の居場所は休止していますが、放課後のこどもの居場所は要望が強く、感染予防対策を実施しながら、継続して活動しています。

#### 感染予防策:

手洗い、マスク着用、3密(密閉・密集・密接)を避ける、風邪症状がある場合は参加を控える、飲食しないなど

## 十文字学園生活協同組合

### オンライン入学準備説明会を 開催しました



質問に答える先輩学生 チャットに書き込まれた質問

十文字学園生協では、1月31日(日)に第1回目の説明会をZoomで開催しました。コロナ禍前は、大学主催のセミナーの中で生協・共済の説明を、食堂ではパソコン、教材などをブース形式で紹介していました。21年度対面式での大学セミナーは中止となりましたが、新入生と保護者の不安解消に少しでも役立ちたいという思いから、オンラインでの説明会を実施しました。質問コーナーではチャットで新入生の方からの質問を書き込んでいただき、先輩学生が答えました。コロナ禍の授業(遠隔授業)について、パソコンの利用頻度などについての質問が多く寄せられていました。2月以降も説明会をオンラインで行いました。この活動により新入生、保護者の方の不安の解消につながればと思います。

## 生活クラブ生活協同組合

### 食育講座を実施しました



2月10日(水)、羽生市立新郷第二小学校にて令和2年度第一回地域学校保健委員会が開かれ、「野菜を好きにさせる料理術～弁当箱で見てわかる栄養バランス～」のテーマで講話をしました。PTAの厚生委員をはじめ地域の小中学校養護教員、児童養護施設などから多数の参加がありました。参加者からは「野菜が苦手な理由が分かり、栄養について初めて学んで楽しかった」「ステイホームで料理の機会が増えたので講座で聞いたことを活かしたい」などの声がありました。食を通じてこどもたちの健やかな成長を願う輪が今後ますます広がっていくことと思います。

### 11/25(水) 第56回埼玉県消費者大会 実行委員会と埼玉県との懇談会

### 要請書への回答を受け、 懇談しました



要請の中で重点とした14項目について回答いただき、質疑応答をおこないました

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、最小限の人数で開催、埼玉県からは7部局10課11人、実行委員会からは埼玉消団連を中心に9団体11人が参加しました。

### 11/27(金) 埼玉県委託事業 県内消費者団体地区別研修会

### 「地域の見守りをすすめるために」 学習しました



医療生協さいたまによる「フレイル予防」についての講義  
各会場実技もおこないました

「フレイル予防について」「消費者被害防止について」、浦和をメイン会場に川越、上尾、久喜各会場で同時開催し、21団体111人が参加しました。